2026 年 9 月 23 日

【当院における過去の臨床データの研究目的での使用のお願い】

下関リハビリテーション病院　医療技術部　リハビリテーション科　理学療法士　藤戸達也は、
研究課題目：「脳卒中患者における GLIM 基準を用いた低栄養評価と歩行予後」という臨床研究を行っております。

1.研究対象期間と対象患者
令和 6 年 9 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの約 1.5 年間の期間で当院を退院した脳卒中患者さま

2.研究目的・方法
目的：脳卒中後高齢患者では低栄養が歩行回復を妨げるため、入院早期の予後予測と栄養介入が重要です。MNA-SF と GLIM 基準を併用した低栄養評価と歩行予後の関連は十分に検討されていない状態です。本研究は両者の関連を明らかにし、栄養管理とリハビリ効果向上に寄与することを目的とします。
方法：この研究は、当院で過去に脳卒中で入院された 65 歳以上の患者さまの臨床データを集積し、評価します。

3.研究に用いる臨床データ
電子カルテから、年齢、性別、入院期間、Brunnstrom Recovery Stage、感覚障害の有無、高次脳機能障害の有無、FIM 運動項目スコア、歩行能力などの臨床データを使用します。

4.研究実施期間
一般社団法人巨樹の会　下関リハビリテーション病院院長の認可日～令和 8 年 10 月 24 日まで（研究最終日）

5.臨床研究実施についての倫理審査
この臨床研究は下関リハビリテーション病院倫理委員会で審査、承認され、病院長の認可を受けて行われるものです。

6.新たな検査、費用の発生について
この臨床研究は過去における対象患者の臨床データを使用して行うものであり、新たな検査や費用は発生しません。また、データを使用させて頂いた患者さまへの謝礼等もございません。

7.個人情報の保護について
使用する臨床データは、個人情報が特定されないよう匿名化を行い、厳重に取扱い、管理を行います。

8. 学会や科学専門誌などの発表について
この臨床研究の結果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合があります。
その際にも氏名など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

9. 利益相反（一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為）について
この臨床研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて実施するものではなく、利益相反状態にはございません。

10. オプトアウト（臨床研究における患者個人の臨床データ使用の拒否）について
臨床データを使用することに同意をいただけない場合には、お手数ですが令和 8 年 10 月 23 日までに、下記の臨床研究についての問い合わせ先に、氏名、年齢、対象研究名をご連絡ください。
なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはございません。ただし、既に学会発表、論文掲載などにより公表された内容については、削除できない場合があります。

今回の臨床研究は医療のさらなる発展に資するものです。
何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【この臨床研究についての問い合わせ先】

一般社団法人巨樹の会　下関リハビリテーション病院
研究責任者：リハビリテーション科　理学療法士　藤戸 達也
TEL：083-232-3205（総務）